

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

町政執行方針・教育行政執行方針

2 町民の誇りとふるさと

「ほんべつならでば」の発信

本別町の平成21年度のまちづくりの方向を示しています

8 当初予算額 112億2046万8千円

特集 平成21年度の主な事業。ソフト・ハード事業別でお知らせします

10 本別町のお金の使いみち

18 道の駅「ステラ★ほんべつ」がオープンします

20 国保病院患者さま満足度調査アンケート

22 少年少女文化・スポーツ奨励賞

30 定額給付金・子育て応援特別手当の申請が始まっています

- まなび白書……………24
- ハロー本別中央小学校……………25
- マイタウン……………26
- みんなの健康・銀河ホットライン……………28
- 国民年金コーナー…ご寄付ありがとうございます……………29
- 本のある暮らし・わたしたちのまち……………32



春から1年生!

本別カトリック幼稚園（岩淵つた子園長、48人）で3月19日、卒園式が執り行われました。式出席者からたくさん「おめでとう」の言葉を贈られた卒園児12人は、笑顔で「ありがとうございます」と返していました。春からは小学1年生です。

町民の誇りとする「ほんべつならでは」の発信

町政執行方針

三月三日の町議会第一回定例会で、町政執行方針と教育行政執行方針が述べられ、平成二十一年度のまちづくりの方向性が示されました。その概要をお知らせします。

平成二十一年町議会第一回定例会の開会にあたり、新年度の町政執行に臨む基本的な考え方と施策の大綱について申し上げ、町民の皆さま並びに議員各位の特段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。



町政執行方針を述べる高橋正夫町長

町政に臨む基本姿勢

国の膨大な債務残高を背景とした抜本的な経済財政運営の改革の流れは、構造改革をはじめ三位一体改革による大幅な地方交付税の減額など、地方にとっては非常に厳しい行財政運営となりました。政府は、国民生活と日本経済を守る観点から、当面は「景気対策」、中期的には「財政再建」、中長期的には「改革による経済成長」という三段階で、経済財政政策を進めるとしています。道内、十勝経済も「厳しくなっている」と評されており、全体的に厳しい状況が今後も続くこと

予想されます。町財政では、地方交付税は「地域雇用創出推進費」の創設と「生活者の暮らしの安心」や「地方の底力の発揮」に向けた事業を実施するために、特別枠で一兆円の増額をするとしていますが、町税の減少、国・道補助負担金の削減など歳入の確保が難しく、一方では、少子高齢化対策による福祉・医療などの地方負担が増加し、行政需要に対する財源不足が生じるなど、依然として厳しい状況にあります。

予算編成にあたっては、徹底した経常経費の削減、事業の選択と限られた財源の集中に努め、国の経済対策に迅速に対応するとともに、生活に密着した事業の確保と町民が夢と希望の持てる施策の展開を図りつつ、一方で基金依存度を縮小し、後年度に負担を残す町債の抑制など、将来に向けた財政基盤の確立にも配慮をしたところであります。第五次本別町総合計画の計画

「ほんべつならでは」の発信

一つ目は、町民参画のまちづくりです。本別町は町民と行政が対等なパートナーとして、お互いの役割を明確にする中で、成熟した協働のまちづくりを目指して努力をしております。今後もさらに個性と魅力あふれるまちづくりを進めるために、どこの町よりも町民がふるさとを思う「ほんべつならでは」の心意気を発信してまいります。二つ目は、町民すべてが家族のまちづくりです。本別町の福祉は、「福祉でまちづくり」を合言葉に、サービスの基盤整備から、生きがい、地域の見守りまで、地域住民、



ギフトも充実してきた
キレイマメ商品

さらに、戦争の悲惨さや空襲を体験したまちとして、特別展「わが町の七月十五日展」を継続して開催し、平和の尊さや命の大切さを後世に伝える「平和のまちほんべつ」や、本のふれあいを通して、感性や創造力を高め、人生をより豊かなものにする「本のまちほんべつ」を発信してまいります。

高齢者福祉および介護保険事業につきましては、今後の施設サービス基盤のあり方を検討するとともに、高齢者福祉施策の充実および介護保険事業の円滑な推進を図り、「ものわずれ散歩のできるまち」の実現を目指して、認知症サポーター養成事業など、認知症に対する啓発普及活動を町民の皆さんと協力して推進してまいります。また「地域包括支援センター」の機能充実に努め、介護サビ

平成21年度主要な施策推進の基本的な考え方

① 健やかで あたたかな心 あふれるまちづくり

本町は、参加・連帯・自立を理念とした「健康長寿のまちづくり条例」を基本に、町民参画による創造性豊かな福祉を目指して「人にやさしい町民すべてが家族のまちづくり」を築いてまいりました。いつまでも安心して暮らせる本別町の発展を願う「福祉でまちづくり」を町民の皆さんの総意により宣言していただきまし



お母さんたちが集まる場での子供の預かりなど
すきやきたいのメンバーが活躍しています

また、第二期地域福祉計画につきましましては、関係機関・団体と連携して町民の皆さまのご意見を反映させながら策定してまいります。

障がい者福祉につきましては、相談支援体制の確立や障がい福祉サービス・地域生活支援事業など、各種サービス基盤の充実を図るとともに、居住環境の整備、就労支援などについても町内NPO法人や関係団体等の協力を得ながら自立した生活への支援を推進してまいります。

児童福祉につきましては、中央保育所で乳児保育の受け入れを拡大し、へき地保育所の今後の運営のあり方について、地域の皆さんと協議してまいります。本年度に改正されます「保育所保育指針」に基づき、今後の保育内容・方法など将来展望を見据えて研究・検討してまいります。子育て支援につきましては、子育てサークルへの支援や「すきやき隊」による支援活動を町民の皆さんと取り組み、乳幼児に対する虐待防止や子供たちの安全と人権を尊重する活動、児童館事業など、関係機関と一体となって青少年の健全育成に努めてまいります。

また、発達の遅れや障がいのある幼児・児童への相談支援の充実を図るため、発達支援センター（ことばの教室）を中心に、関係機関と連携して適切な対応を図ってまいります。さらに、安心して子育てができるように、本年度より、町単独で乳幼児等医療費の助成を小学生の通院まで拡大いたします。健康管理事業につきましては、昨年度から四十歳以上七十四歳までを対象とした「特定健康診査・特定保健指導」が実施されるなど、乳幼児期から高齢期ま



銀河線の鉄橋撤去も進んでいます

北海道の事業は、利別川の仙美里地区で、河川改修工事が引き続き実施されます。公園緑地の整備については、公園施設長寿命化計画を策定し、町民の憩いとふれあいの場としての快適な環境づくりに努めてまいります。次に、ふるさと銀河線代替バスについては、公共交通機関として安定的な運行が図れるよう努力し、「通学定期差額補助」を町単独で引き続き実施してまいります。ちほく高原鉄道施設の撤去と跡地の整備・維持管理につきましては、計画的に実施し、鉄軌道跡地の譲渡に関し、現在隣接する地権者と協議を進め、必要に応じて用地確定測量を実施してまいります。三年目となる国のまちづくり交付金を活用した、ふるさと銀

での、すべてのライフステージにおいて健やかに安心した生活を送れるよう、保健・医療・福祉との連携を図り各種検診業務を実施してまいります。特に、乳がん健診につきましては、これまで四十歳以上としていた受診対象者を三十歳以上に拡大することとしました。母子保健は、安心して子供を産み、育てられるよう、きめ細かな保健・栄養指導を推進してまいります。さらに、妊婦一般健康診査につきましては、本年度から十四回の助成を実施することといたしました。老人ホームの運営は、利用者のニーズや状態に合ったサービスを提供し、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援を行い、信頼される施設運営に努めてまいります。二年目を迎える後期高齢者医療特別会計は、制度の改正が続いており、改正の内容を適切にお知らせしながら、運営主体の広域連合と連携を図り、制度確立に向けて努力してまいります。医療体制につきましては、道内の多くの自治体病院が、深刻な医師、看護師などの不足、過疎化に伴う患者の減少、さらに、診療報酬の改定の影響などにより、極めて厳しい経営環境に置かれておりますが、町民の「健

康」と「いのち」を守ることを最優先課題として、周辺地域の拠点病院としての役割を担うことを目標に病院運営を進め、人工透析患者が年々増加していることから、透析ベッドを二床増床し、ＩＴ化の推進によって、診療業務の効率化、会計待ち時間の解消、医療安全の向上を図ってまいります。また、患者サービスのさらなる向上のため、自助食器の導入などを進め町民に病院運営に参加いただく活動を通じ、地域に開かれ、信頼される病院づくりに取り組んでまいります。



町民の「健康」と「いのち」を守る国民健康保険病院

② ふれあい・豊かな心を育む まちづくり

子供たちは、次代を担う宝です。すべての子供たちが心のふれあいを大切にし、自ら学び自ら考え、課題解決する力をはぐくみ、感性豊かで心身ともにたくましく生きることのできる力の育成が求められています。このため、子供たちの安全・安心な環境の確保と、家庭・学校・地域が一体となって子育てや家庭教育に関するきめ細かな支援体制を図り、さまざまな体験活動の機会充実に向けてまいります。

本町は子供から、豊かな知恵と経験を備えた高齢者まで、生涯各期において自発的に学び、まちづくりに参画していただく生涯学習の推進を目指しております。町民の方々の学習活動、芸術文化活動、スポーツ活動などを活性化するとともに、学んだ成果を自らの意志で生かすことのできる環境整備を行い、まちづくりへの参画を促し、快適な地域文化の創造といきいきとした地域コミュニティの基盤形成に努めてまいります。

③ 自然にやさしい心を大切に潤いのあるまちづくり

地域の活性化を図るための「本別町お試し暮らし」を実施し、移住希望者や移住体験希望者への空き家情報を発信し、引き続き定住団地の分譲促進を図ってまいります。公営住宅整備は、本年度も引き続き、栄町団地の建替事業を実施し、住環境の向上を図ってまいります。

次に、ごみ処理事業の推進につきましては、地域、町民の皆さまのご協力により、活発に資源集団回収事業に取り組んでいた、ごみの減量化や資源化が進んでおります。今後、より一層のリサイクル率の向上を目指してまいります。また、民間委託したごみ収集業務も順調に推移しており、さらなる効率的な運営に努めてまいります。道路整備は、北海道の事業として、継続事業の道道居辺本別線の整備が実施され、生活道路であります町道整備は、継続事業の町道美蘭別活込横断道路ほか五事業を実施してまいります。河川整備は、国の事業として、利別川の共栄、チエトイ地区、

河線旧駅舎と周辺整備事業は、旧本別駅と旧岡女堂駅および周辺整備を進めてまいります。防災関係では、災害に対する地域自主防災組織の体制づくりや防災への意識向上を図ってまいります。水道は、町民生活や経済活動を支える施設として重要な役割を担っており、施設の整備や維持管理を計画的に進め、安全で良好な水を安定的に供給できるよう努力してまいります。浄化槽市町村整備促進事業についても、引き続き事業の推進を図ってまいります。

④ 大地の心に響きわたる活力にみちたまちづくり

本町の農業は、恵まれた自然と豊かな大地のもとで経営が展開され、我が国の食料基地として、また、地域を支える基幹的な産業として発展するとともに、国土や環境の維持・保全など多面的な機能を発揮し、本町の経済社会の基盤として大きな役割を果たしており、昨年度策定した「本別町農業基本構想」に基づき施策を展開してまいります。具体的には、担い手育成確保のための対策、鳥獣被害防止対



農業は地域を支える基幹産業であり我が国の食料基地としての役割も担っています

策、地場産品の付加価値の向上など、効率的かつ持続的な施策を展開し、さらには、土づくりに対しても引き続き支援し、今後も計画的な土地基盤整備を促進してまいります。二年目となります「農地・水・環境保全向上対策」も積極的に実施してまいります。畜産振興は「本別町酪農肉用牛生産近代化計画」等に基づいた畜産経営の推進、乳質改善、粗飼料生産基盤の整備・拡大を進め、良質で安全・安心な生乳生産体制を確立するとともに、優良繁殖牛の保留・導入事業の実施による黒毛和牛経営の維持・拡大を図り、経営の安定化・近代化対策を講じてまいります。また、家畜排せつ物の適正管理を徹底し、地域内流通体制の構築とシステム化の検討を図るとともに、伝染病予防対策に万全を期してまいります。林業の振興のため健全な森づくりに向けた事業の推進を図り、国土の保全、水源のかん養、保

健康養生の場の提供、自然環境の保全、地球温暖化の防止および循環利用が可能な資源としての木材供給など、多面的機能を有する森づくりは、長い時間をかけて取り組む必要があることなどを広く周知し、理解を求めていきます。次に、商工業は、大変厳しい社会情勢となつていの中で、消費の拡大を目指し、引き続き、町民の皆さん、商工会や農業団体など関係団体と連携し、「地産地消」「地商地買」の推進に努め、商工業の振興を図ってまいります。また、地域経済の活性化を目指し、雇用の拡大を図るため、企業立地に向けた取り組みを積極的に進め、産業の振興を図ってまいります。次に、観光振興は「道の駅」



明日の本別を担う子供たち
をはぐくんでいく教育を推
進していきます

「本別町こどもを育む学校支援本部実行委員会」が地域の調整役となる地域コーディネーターを配置し、学校の求めと地域の力をよりマッチングさせ効果的な学校支援に努めます。また、芸術文化活動の促進を図るため、町民の自主性を尊重しながら個人やサークル、文化団体の活動に対する支援に努めます。

移行を推進します。国際理解教育の推進につきましては、姉妹都市豪州ミツチエルに中高生を派遣します。安心・安全な学習環境の整備の推進では耐震補強工事を実施します。本別高校への支援策を見直し、大きく拡充を図ります。障がいを持つ児童生徒に対する特別支援教育支援員を引続き全校に配置し、特別支援教育の充実を図ります。安全・安心の学校給食の提供に努め、できるだけ国産食材、とりわけ地場産食材の活用を図り、食育の推進と適正な学校給食とするため、給食費を改定します。

また、私達を取り巻く社会環境は急激に変化し、物質的な豊かさの反面、心の弱さや貧しさを引き起こす社会問題が多発している中で、心豊かでたくましい子供たちを多く育てるためには、家庭・学校・地域が一体となつて地域の教育力を高めていくことが重要であります。今年度、「相田みつを美術館移動展」を開催し、町民の皆さん自らが生涯学習の担い手となり、心に響くことばと書体を通して日々学ぶことの大切さを実感していただくとともに、子供から大人まで幅広い年代の方々へのエールと子育てをしている方々には励ましを届け、生きるための原動力となるよう、町民の皆さんと



平成19年11月にオーストラリアを訪問した
第14次国際交流訪問団

ともに取り組んでまいります。町総合計画主要プロジェクト「本の町プラン」に基づき、図書館資料の充実を努めます。また、母親手作りの絵本をとおして生まれてくる赤ちゃんに生命の誕生と感謝の気持ちを伝え、読み聞かせの大切さや図書のかかわりを、これから母親になる方々に理解してもらおう「フリーストブック事業」の取り組みを進めます。さらに、学校と連携を取りながら教科書の教材として扱われている作品の著者である児童文学者による、児童と著者とのふれあい授業や保護者と教員を対象とした学習方法講座を実施するなど、読解力や表現力を身に付ける取り組みを進め、児童の感性や学力向上を図ってまいります。



毎年、戦争の悲惨さを伝えている「わが町の七月十五日展」
学童疎開船対馬丸の撃沈生還者の語りべ講演会

んべつの貴重な馬文化を伝えてまいります。社会体育活動では、健康づくり教室や義経教室など様々な機会を利用して軽スポーツの普及に努めます。さらに、継続的にスポーツ活動を行うための環境づくりを進め、体育施設の利用拡大を図られるよう努めます。また、昨年から健康管理センターと連携を図りながら取り組んでいるメタボリック撃退教室を引き続き開設し、日常生活において適正な食事や運動を取り入れることを習慣づけ、町民の健康と体力の意識の向上に努めてまいります。



教育行政執行方針を述べる
若木佳則教育委員長

町民一人ひとりがともに、本町が進める「生涯学習」の観点で、「ほんべつ学びの日」の理念と趣旨の普及啓発を図り、あらゆる町民の学習ニーズに応えながら、文化・スポーツの振興

の開設を予定しており、農業者や商工業者の皆さんと連携し、観光や特産品販売の拠点として、さまざまな取り組みを進め、修学旅行の誘致については、九月に関西圏の高校二校の受け入れが決定したところであり、この取り組みを足がかりに産業体験型観光の推進を図ってまいります。

⑤心あわせ元気ないきいきとしたまちづくり

現在、第二期の地方分権時代を迎えておりますが、真の分権改革には、国の実質的な決定権や財源を自治体に移譲し、地方が自ら考え、実行できる体制整備が不可欠であります。地方分権全般に関しては、引き続き住民自治および住民生活の利便性確保を基本に、町民の皆さま並びに議会の意向を充分

に踏まえるとともに、十勝町村会とも連携を図り、真の地方自治の確立に向け努力をしてまいります。また、地方分権型社会の構築のため、町民が地域や自らの課題に関心を抱き、自発的に活動を進め、対等なパートナーとしての関係を築くことが必要と考えており、併せて、行政の持つ情報を積極的に公開し、透明性の高い町政執行と、協働型社会の醸成に向けた環境づくりを積極的に進めてまいります。なお「本別町個性あるふるさとづくり寄付金」は、寄付とい

う方法を通じ、個性と魅力にあふれる「ふるさとづくり」を全国にPRし、より一層、有意義な運用を図ってまいります。行政改革の推進につきましては、集中改革プランおよび推進計画に基づき取り組みを進めてまいります。平成二十二年度以降に向けた新たな計画を策定してまいります。今後も厳しい行財政運営が予想される中で、町民の皆さまの理解を得ながら、一歩踏み込んだ行政改革を推進し、財政基盤の確立と健全な町政運営に向け努力をしてまいります。

教育行政執行方針

を図り、そして、明日の本町を担う子供たちが主体的にたくましく生き抜く力をはぐくんでいくことが重要です。

教育行政執行の基本的な考え

学校では新年度から新しい学習指導要領の移行期間に入りま

るための取り組みと、道徳教育と平和教育の重要性を認識した取り組みを推進します。

主要施策の推進

「ほんべつ学びの日」を宣言して三年目を迎え、その普及啓発活動を通して、家庭・学校・地域が融合し、大人と子供が一緒に

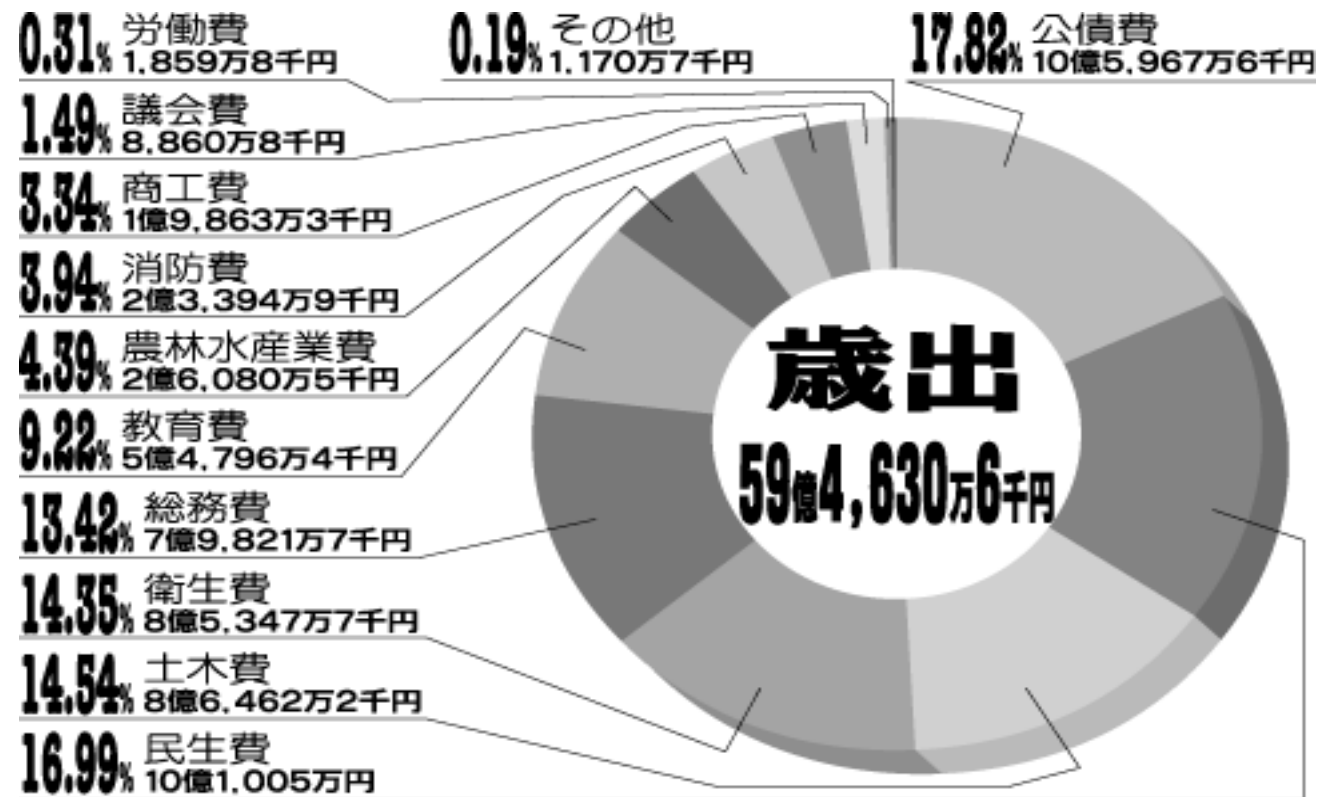


いろいろな角度から本別の教育を
考える「ほんべつ学びの日」

平成21年度 112億2,046万8千円

一般会計 59億4,630万6千円
 特別会計 33億6,558万9千円
 企業会計 19億 857万3千円

財政基盤の確立と生活に密着した事業の確保、町民が夢と希望の持てる施策の展開を図ります



平成21年度予算編成

平成21年度の各会計予算規模は、一般会計および特別・企業会計を合わせた総額で、112億2,046万8千円となり前年度当初と比較しますと3.5%の減となっております。新年度予算の編成にあたっては、徹底した経常経費の削減、事業の選択と限られた財源の集中に努め、生活に密着した事業の確保と町民が夢と希望の持てる施策の展開を図りつつ、一方で基金依存度を縮小し、後年度に負担を残す地方債借入れの抑制など、将来に向けた財政基盤の確立に配慮をいたしました。

一般会計予算の概要

一般会計予算の総額は、59億4,630万6千円で、前年度当初予算63億9,055万7千円に比較し、3.5%の減となっておりますが、昨年の特殊事情5億4,434万円を除きますと58億4,621万7千円となり、実質1.7%の増となります。

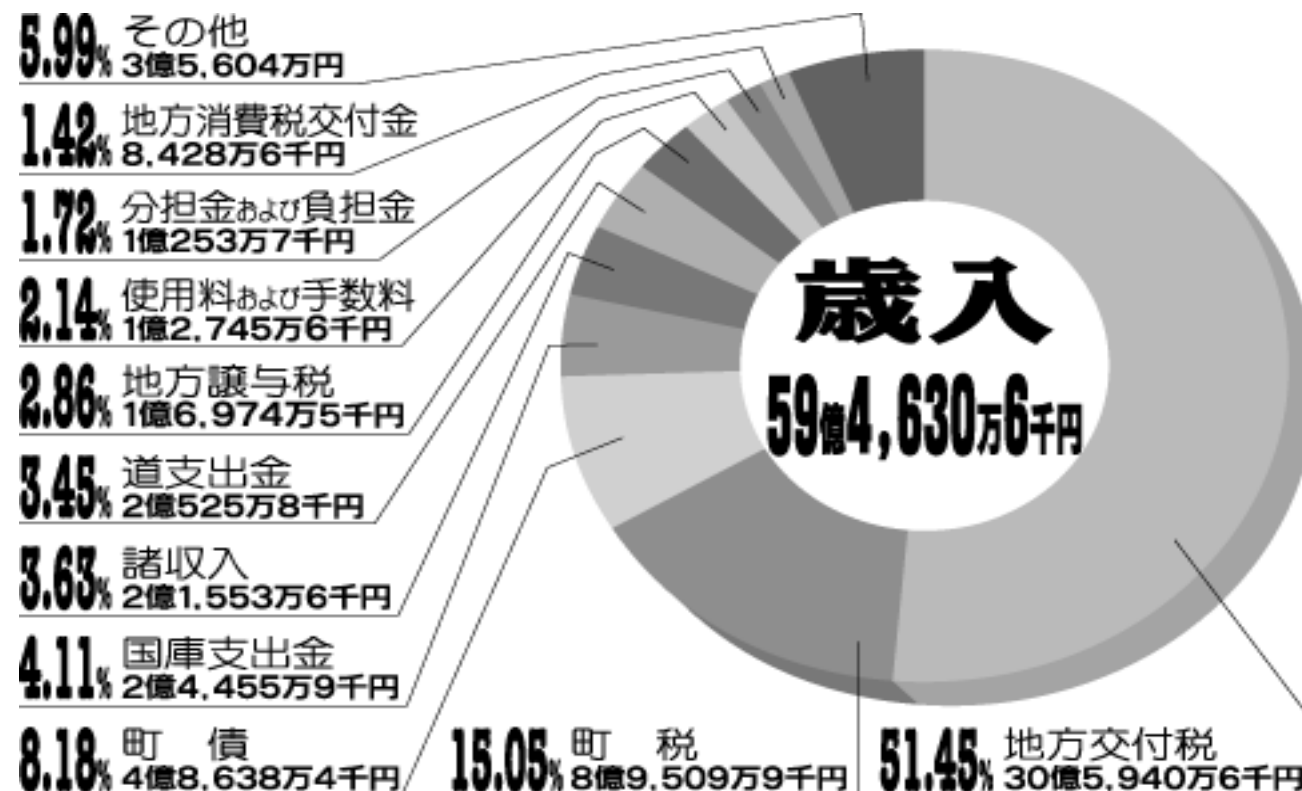
歳入につきましては、町税は、歳入の15.1%を占めておりますが、前年度当初予算と比較し、3,303万1千円、3.6%減の8億9,509万9千円を見込んでおります。主な要因としては、町民税法人税割が1,995万4千円、47.3%減となり、町民税総額で2,038万6千円、5.0%の減、固定資産税は1,317万円、3.0%の減となっております。地方交付税は、総額で歳入の51.5%を占め、本年度は「地域雇用創出推進費」が創設され、基準財政需要額の伸び率は、個別算定経費が1.0%程度の増、包括算定経費が3.0%程度の減と想定されることから、前年度当初予算と比較し7,508万4千円、2.5%増で見込んでおります。繰入金は、前年度に対して1,540万1千円、6.9%の増ですが、財源調整のため財政調整基金、減債基金はそれぞれ前年度同額の1億円としております。地方債は、前年度に対して9,848万4千円、25.4%の増となっておりますが、繰上償還による借換債4,550万円、臨時財政対策債2億448万4千円を除く建設事業充当分は2億3,640万円で、前年度2億1,750万円に対して、1,890万円、8.7%の増となっております。

歳出につきましては、投資的経費は、6億1,432万9千円を計上しておりますが、栄町団地公営住宅建替事業1億228万8千円を前倒して実施することにより、前年度当初と比較し4,522万9千円、6.9%減にとどめております。雇用対策は、国の緊急雇用創出事業として434万1千円、季節労働者雇用対策として389万3千円、ワークシェアリング枠として480万円（高校生3名）を計上いたしました。常なる行政改革を推進し、事務事業評価を実施しながら、少ない経費で最大の効果を生み出せるよう努めております。

厳しい財源不足から難しい編成となりましたが、健康、福祉、医療、農業基盤、教育そして命と暮らしを支える施策を展開し、地域の活性化につながる予算としております。

各会計別当初予算額 (単位：千円・%)

会計区分	本年度A	前年度B	差引(A-B)C	C/B×100
一般会計	5,946,306	6,390,557	△444,251	△7.0
特別会計				
国民健康保険	1,407,438	1,311,522	95,916	7.3
老人保健	3,517	185,999	△182,482	△98.1
後期高齢者医療保険	98,665	106,558	△7,893	△7.4
介護保険事業	690,580	691,888	△1,308	△0.2
介護サービス事業	258,037	241,199	16,838	7.0
簡易水道	182,243	156,170	26,073	16.7
公共下水道	725,109	808,033	△82,924	△10.3
小計(1)	9,311,895	9,891,926	△580,031	△5.9
企業会計				
水道事業				
収益的収支				
収入	146,690	147,305	△615	△0.4
支出(2)	146,690	147,305	△615	△0.4
資本的収支				
収入	61,939	39,618	22,321	56.3
支出(3)	116,474	89,734	26,740	29.8
病院事業				
収益的収支				
収入	1,314,714	1,282,944	31,770	2.5
支出(4)	1,440,392	1,410,333	30,059	2.1
資本的収支				
収入	178,028	66,443	111,585	167.9
支出(5)	205,017	91,393	113,624	124.3
合計(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	11,220,468	11,630,691	△410,223	△3.5



特集

本別町のお金の使いみち

☆印は新規事業です

平成二十一年度の一般会計予算の主な事業について、ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。

ソフト事業編 Part 1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

☆第6次本別町総合計画策定
(計画期間：平成23～32年度) 677千円



本別町行財政改革の推進

- 適正な定員管理の推進
- 人事給与制度の見直し
 - 期末勤勉手当役職加算の停止
 - 退職者不補充
- 各種事業の見直し
- 事務事業評価調整および補助金の見直し
- 町民による評価の実施

資源集団回収事業 7,962千円
一般廃棄物収集運搬業務委託 43,575千円
ごみ収集業務の民間委託

☆雇用対策事業

- 緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業
 - 林道等環境整備および町有林資源調査事業 4,341千円
- 季節労働者雇用対策 3,893千円
- ワークシェアリング枠(高校生3人) 4,800千円

☆元気まち推進事業・本別ブランド「キレイマメ」の推進

道の地域農産物付加価値向上プロジェクト活動支援事業を活用し、本別ブランド「キレイマメ」の販路拡大、新商品の開発など、町の特産品のPR、販売を促進します。

- 研修会、講習会の開催
- マーケティング調査、商談会の実施
- 新商品の開発、パッケージデザインの検討
- PRパンフレットの作成

1,678千円
(補助対象 1,600千円)

☆「道の駅」開設に伴う関連事業

4月に道の駅「ステラ★ほんべつ」開設に伴う記念事業の実施および観光や特産品の販売拠点としての整備を図ります。

- オープニングセレモニー
- 施設維持管理
- PR看板の設置

9,460千円

☆地域福祉計画策定
(計画期間：平成22～26年度)
563千円

保育所体験特別事業

保育所の開放事業と合わせて、体験入所および昼食の体験を実施します。

2,000千円

☆乳児保育の拡充

乳児保育のニーズも多くなっており、中央保育所での乳児保育を拡大します。

3,713千円



☆特定健診および各種がん検診の充実

※特に平成21年度から乳がん検診を30歳から対象とします。

10,365千円

後期高齢者医療事業

- 後期高齢者医療療養給付費負担金 101,598千円
- 後期高齢者医療保険特別会計繰出金 32,653千円

不妊治療費助成事業
(1年度2回)
100千円

☆次世代育成支援対策推進行動計画策定
(後期計画：平成22～26年度)
279千円

インフルエンザ予防接種助成
(予防接種の1/2補助)

- 小児(1歳～就学前) 297千円
- 高齢者 1,080千円

☆妊婦健康診査助成事業の拡大

助成回数を5回から14回に増やします。

5,606千円

☆乳幼児等医療費助成事業拡大

子育て支援をするため、8月から道の給付対象者より町独自に小学生(通院)まで助成拡大します。

小学生の通院費(1割自己負担、2割助成、非課税世帯全額助成)

13,980千円

麻しん・風しん予防接種

中学1年生・高校3年生を平成20年度から5年間対象。

2,465千円

障害者自立支援給付

身体障がい者等 補装具給付・修理	2,088千円
自立支援医療 一般医療(人工関節等)	120千円
人工透析	23,418千円
精神障がい者通所交通費助成	87千円
介護給付・訓練等給付 身体障がい者	19,702千円
知的障がい者	79,196千円
精神障がい者	1,220千円
障がい児	670千円
地域生活支援事業	14,337千円
☆ピアカウンセリング派遣事業	
日常生活用具給付事業 移動支援事業	
更生訓練費給付事業 日中一時支援事業	
生活サポート事業 社会参加促進事業	
身体障がい者自動車改造費助成	
肢体・言語・情緒障がい児通園助成	
コミュニケーション支援事業	
障がい者等相談支援事業	600千円
地域活動支援センター事業(小規模作業所)	8,100千円
地域活動支援センター事業(広域利用促進)	680千円
特別対策事業(事業運営円滑化事業)	1,200千円
総事業費	151,418千円

介護サービス事業特別会計

- ・本別町指定居宅介護支援事業所の運営
- ・本別町指定予防支援事業所の運営

31,470千円

**介護保険特別会計
地域支援事業**

1. 介護予防事業

- ①通所型介護予防（運動器機能向上・栄養改善など）
- ②訪問型介護予防（うつ・認知症・閉じこもりの予防と支援）
- ③地域介護予防活動支援（地域活動組織の育成と支援）

16,410千円

2. 包括的支援事業（地域包括支援センター）

- ・介護予防マネジメント
- ・総合相談支援／権利擁護／虐待防止支援
- ・包括的継続的マネジメント

25,772千円

3. 任意事業

- ①家族介護支援
 - ・認知症高齢者見守り事業（やすらぎ支援事業）他
- ②その他事業
 - ・介護相談員派遣事業
 - ・成年後見制度利用支援事業 他

3,592千円

病院事業

☆オーダリングシステム導入

医療安全の向上、待ち時間短縮、業務の効率化・標準化のためのIT化推進。

63,000千円

X線画像保存装置更新

29,400千円

医療機器購入

（透析用監視装置更新ほか）

33,566千円

**メタボリック撃退
教室の開設**

運動指導と栄養指導を組み合わせ、日常生活において適正な食事や運動を取り入れることの習慣づけを図るため、昨年を引き続き開設し、町民の健康と体力の向上に努めます。



ソフト事業編 Part 2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

**英語に馴れ親しむ
活動促進事業**

小学校3校 **538千円**

☆新学習指導要領の円滑な実施に向けた教材教具の整備

「伝統や文化」の継承・発展、道徳教育の充実を図るため児童生徒用副読本（道徳用）や指導用教材（柔道着・和楽器ほか）を整備します。

926千円

本別高校の教育を考える会補助金

- ①一般事業（継続）
本別高校パンフレット、PR用チラシ、ポスター作成
- ②進路指導対策事業（継続）
進路意識啓発講演会、小論文指導講師招聘、視察研修費、資格取得補助費、オープンキャンパス参加補助
- ③学力向上対策事業（継続）
模擬試験受験補助：進学・就職模擬試験受験料
補助教材活用費：駿台予備校サテライトDVD購入
- ④特別活動支援（拡大継続）
部活動補助、大会参加交通費支援
- ⑤通学費支援（新規）
遠距離通学補助、下宿補助

8,753千円

**特別支援教育支援員の
配置事業**

発達障がいのある児童生徒に対して、生活や学習のサポートをする支援員を配置し、特別支援教育の充実を図ります。（全小中学校）

5,842千円

**「ほんべつ学びの日」
関連事業**

家庭・学校・地域が融合し、大人と子供が一緒になって学びへの関心を高める「ほんべつ学びの日」を、広く町民に普及啓発し、学習意識の高揚と地域の教育力向上を図ります。



**国際交流研修
オーストラリア・
ミッチェル訪問**



中・高生を姉妹都市に派遣し国際理解教育の推進と、交流、親善を深めます。

2,938千円

小学生小松島市交流研修

姉妹校である小松島市立江小学校と勇足小学校の児童を相互に派遣し交流を深めます。

250千円

☆学校支援地域本部事業

文部科学省の委託事業として、地域のボランティアや地域コーディネーターが学校運営を支援する体制を構築します。

資料館特別展示「わが町の七月十五日展」と企画展「ほんべつの馬文化」の開催

特攻隊員を母のような愛で支えた鳥浜トメの生涯をとおして戦争の悲惨さと平和の尊さ、命の大切さを伝える特別企画「わが町の七月十五日展」を開催します。また、企画展については、本別の馬文化をとおして本別の貴重な歴史を伝えていきます。

300千円

**☆相田みつを美術館
移動展の開催**

作品を通して家庭・学校・地域が連携を取りながら日々学ぶ大切さを実感していただくとともに、子供から大人まで幅広い年代の方々へエールを届け、生きるための原動力となるよう取り組みます。

4,723千円

**図書館
「ファーストブック事業」**

これから母親になる方々を対象として、生まれてくる赤ちゃんに生命の誕生と感謝の気持ちを伝え、読み聞かせの大切さや図書館との係わりを理解してもらう取り組みとします。

76千円

ハード事業編 Part 1

建物、道路などの事業

※()内のH18～H22は平成18年から平成22年までの事業の略です

このほか
道路整備事業として
事業費38,000千円
で3カ所の町道整備
を行います

町道栄町14号道路外1 (H20～22)

〈改良・舗装工事〉 総延長438m予定
幅員=4.0m
改良=346m
舗装=92m
47,000千円

☆旧ふるさと銀河線鉄道施設の撤去と跡地の整備等

- 撤去～鉄橋 1カ所 33,000千円
- 跡地整備 (旧鉄道官舎跡=北5丁目) 維持管理～跡地整備 1カ所 1,840千円

34,840千円

町道横断バリアフリー化

車いす、乳母車、目が不自由な人などがスムーズに横断できるように歩道の一部を改良します。高齢者が住みやすいまちづくり事業の一環です。

2路線 **5,910千円**

公営住宅建替

栄町団地公営住宅建替
木造平屋 1棟4戸
団地内道路整備など
99,999千円

☆公園施設長寿命化計画策定

3,740千円

旧日本別駅周辺

- 広場駐車場整備
- 旧日本別駅内部改修工事
- 広場整備 2,800㎡

☆まちづくり交付金事業 (5か年計画の3年目)

～ふるさと銀河線旧駅舎と周辺整備事業の推進～

快適でうるおいあふれる生活環境の整備、新たな活力を生む商工業の振興、地域に根ざした特色ある観光を中心としたまちづくりの推進を柱に、道の駅を含めた旧日本別駅舎周辺をはじめとする旧銀河線駅周辺整備について、国のまちづくり交付金事業を活用して進めるもの。

- 旧日本別駅舎および周辺整備
駐車場整備 標識7基ほか
広場整備 1カ所 A=2,800㎡
旧駅舎内部改修 (自動ドア2カ所・観光案内所A=12.96㎡)
情報端末 1カ所
- 旧岡女堂駅待合所および周辺整備
観光情報センター 1棟
(本体A=118.08㎡、駐車場歩道 L=75m、W=2.5m、情報端末)
128,343千円
(うち補助対象 128,343千円)

向陽町団地屋根塗装

4棟18戸
(H18年度から計画的に実施)
2,100千円

旧岡女堂駅周辺

観光情報センター

町道上押帯幹線道路道路舗装 (H14～23)

〈舗装工事〉 延長=510m (総延長1,374m予定)
幅員=5.5m
〈施工場所〉 土幌町境から東側の510mの区間
30,000千円

ハード事業編 Part2

建物、道路などの事業

21世紀北の森づくり推進事業
 <人工造林・樹下植栽> 125ha
17,500千円

町有林造林事業
 <下刈> 3カ所 11.98ha
 <樹下植栽> 1カ所 5.81ha
 ※→の場所など
2,604千円

☆畜産担い手育成総合整備事業
 (H21~24)
 飼料基盤整備等
 <草地造成> 1.0ha
 <草地整備> 52.0ha
 <暗きよ整備> 12.4ha
総事業費 54,794千円
 (本町負担分 27,666千円)

農地・水・環境保全向上対策事業
 環境の良好な保全と資質の向上を図ることを目的として、農業者と地域住民が農道や農業用排水路等の維持管理および環境保全管理の取り組みを行います(対象16地区)。
47,984千円
 (本町負担分 11,996千円)

西美里別地区道宮畑地帯総合整備事業 (H15~21)
 農道石標埋設および防除施設を主に整備します。
 <農道> 石標埋設一式
 <営農用水> 管理用道路石標埋設一式
 路面処理 L=320m
 防除施設36カ所

☆国営利別川左岸土地改良事業 (H21~27)
 池田町大森地区と本別町勇足地区の一部区域を、農用地の湛水被害解消を図るため農業用排水路と排水機場の整備を両町(池田町・本別町)で取り組みます。
 <農業用排水路> 調査測量一式 **60,000千円**

土づくり奨励特別事業補助金
 <土壌改良剤購入助成> 6,000ト
 <緑肥種子助成> 430ha
24,233千円
 (本町負担分 3,890千円)

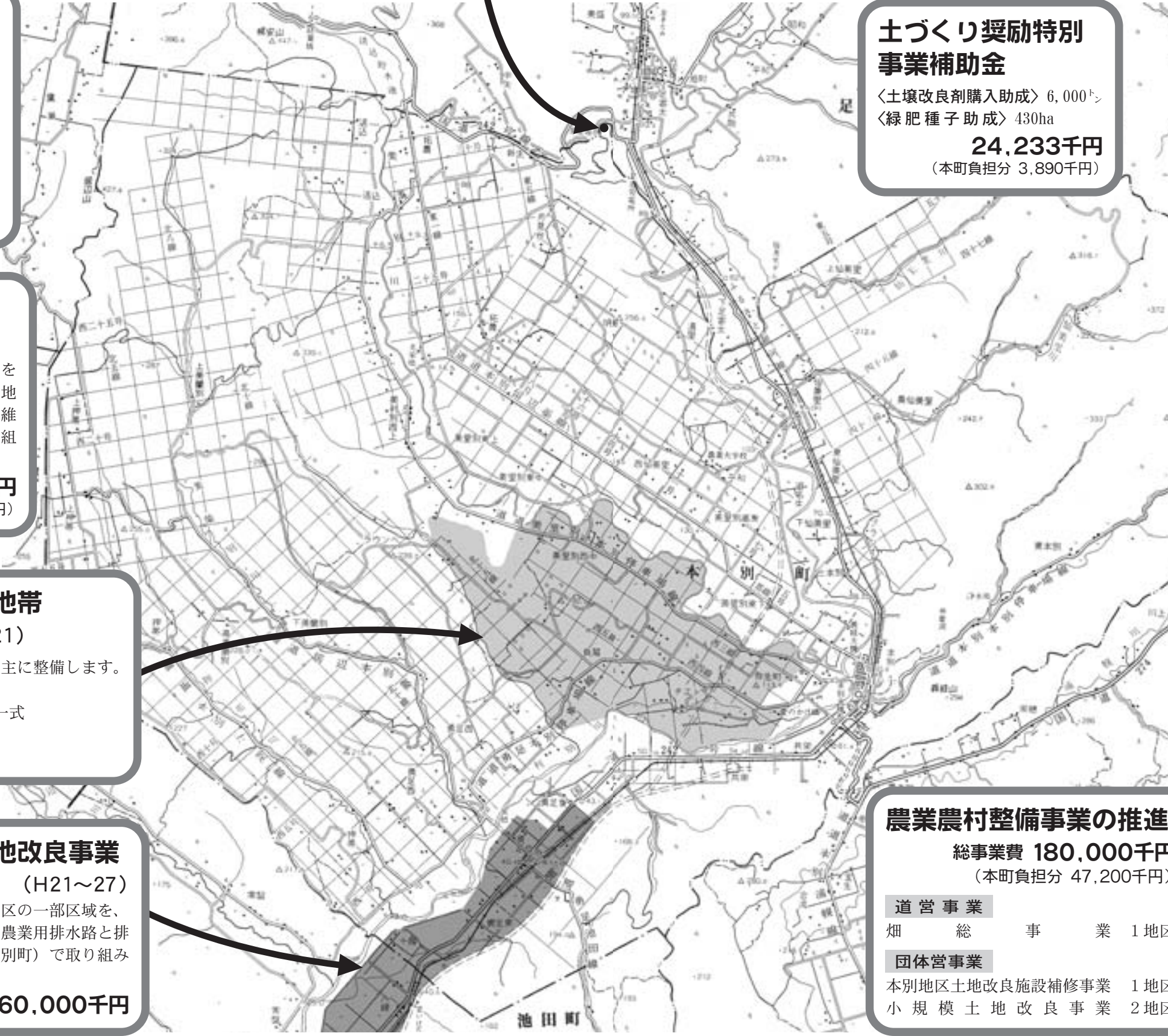
水道事業
 ☆浄水場高圧受変電設備更新
 高圧受電盤 1面
 低圧電灯動力盤 1面
42,630千円
 ☆浄水場ろ過設備更新
 ろ過池 1池
4,500千円
 上本別配水管整備工事外2事業
18,040千円

簡易水道事業
 西美里別地区配水管整備
 配水管φ20~40 延長=640m
14,200千円
 ☆簡易水道監視システム更新工事
 テレメーター盤 1台
 監視ロガー装置改修
23,520千円

下水道事業
 汚水管きよ新設(共栄、栄町、東町)
 延長=405m
 処理場機器更新 一式
58,400千円

個別排水処理施設新設
 合併処理浄化槽新設 16基
35,860千円

農業農村整備事業の推進
総事業費 180,000千円
 (本町負担分 47,200千円)
道営事業
 畑 総 事 業 1地区
団体営事業
 本別地区土地改良施設補修事業 1地区
 小規模土地改良事業 2地区



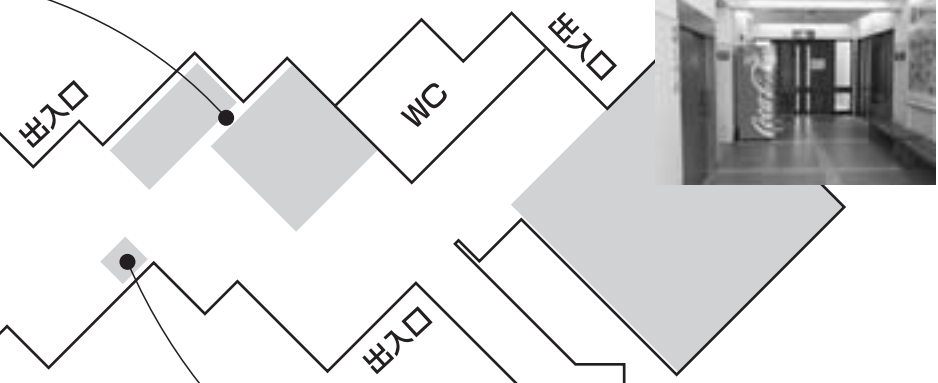
道の駅
ステラ★ほんべつ
Stella★Honbetsu

「ステラ★ほんべつ」の名称は、全国388点の応募の中から、これまでの愛称であった「ステラプラザ」にちなんだ名称に決定しました。

コミュニティーセンター
コミセン機能を持ちつつ、町内企業が手がけたプロ野球選手が使用するバットの展示や、姉妹都市や友好都市の紹介スペースになります



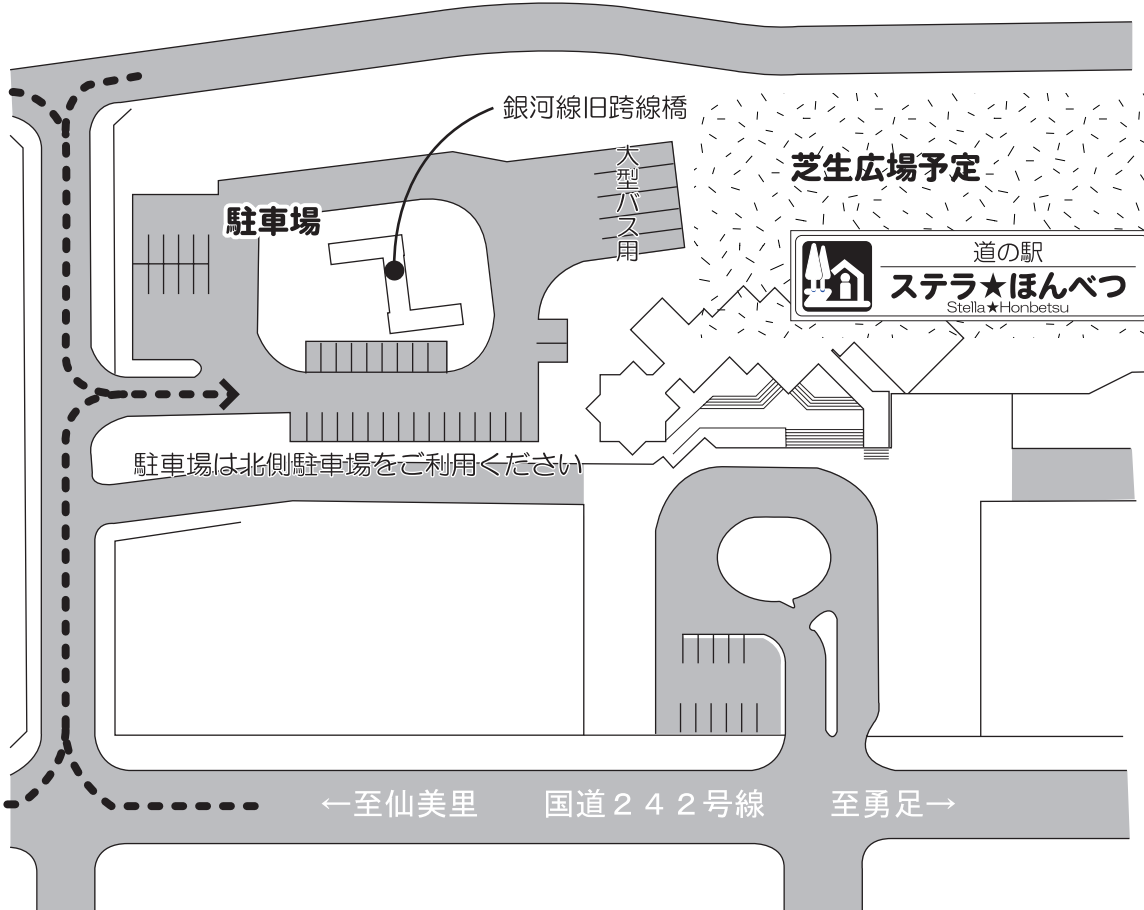
売店・パン屋さん
町内の特産品にこだわった売店や、焼きたてのパンを販売します



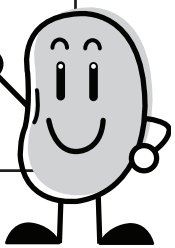
レストラン
本別町唯一の中華のお店が出店。おいしい料理を提供します



情報発信コーナー
北海道開発建設部の道路情報のほか、町内のお店情報やイベント情報を発信する設備が設置されます



道の駅「ステラ★ほんべつ」
周辺および駐車場のご案内



道の駅
ステラ★ほんべつ
4月20日
午前9:00
OPEN

平成十八年四月二十日、ふるさと銀河線の廃線により、駅としての機能を失っていたステラプラザ(旧本別駅)が三年の時を経て、新たに道の駅「ステラ★ほんべつ」として生まれ変わります。

オープニングセレモニー

道の駅「ステラ★ほんべつ」のオープンを記念したセレモニーを次の通り開催します。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

とき **4月26日(日) 午前11時から**

ところ 道の駅「ステラ★ほんべつ」

内容 ・テープカット
・先着で三〇〇食のきのこ汁(おにぎり付き)を無料で振る舞います
・先着三〇〇人にオープン記念品を贈呈します

問い合わせ 役場企画振興課 観光・元気まち担当 ☎22-8121

ステラプラザは銀河線廃線後、銀河線代替バスの待合所や物産センター、コミュニティホールなどとして使用されてきましたが、駅として使用していた当時の乗降客によるにぎわいなどもなくなり、少し淋しさを感じる施設でした。そんなステラプラザが四月二十日、道の駅として姿を替え、集客と情報発信をあわせもつ本別の拠点として再スタートします。

道の駅という町外の人がドライブの途中で立ち寄りやすい場所というイメージがあるかもしれませんが、本別の道の駅「ステラ★ほんべつ」の目指すところはそれだけではありません。町民の皆さんがふらっと立ち寄り、コミュニケーションをとる、また、おいしいものを食べるというたまちの人も楽しめる空間です。

道の駅「ステラ★ほんべつ」が町民皆さんの利用により本別の顔となるよう応援をお願いします。





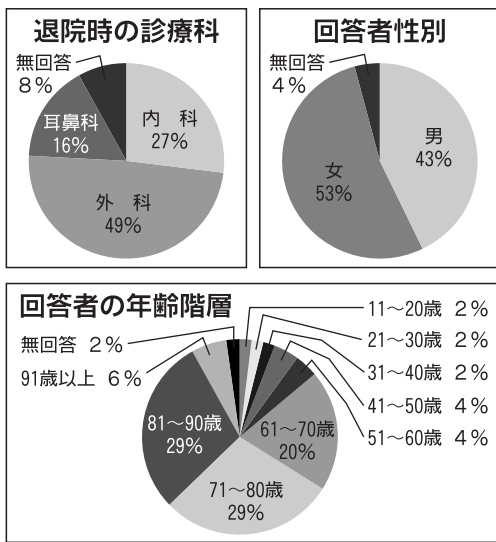
国保病院 患者さま 満足度調査アンケート

本別町国保病院では、患者さまに満足いただける医療を提供するため、スタッフ一同サービスの向上に努めておりますが、患者さまがどのように感じておられるか率直な意見をいただき、さらなるサービスの向上を目指すため、受診いただいた患者さまにアンケート調査を行いました。ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。

入院患者さまの回答

調査時期 平成二十年十一月四日から
平成二十一年一月六日
回答数 四十九人
設問 二十一問 (①大変良い②良い③普通④悪い⑤非常に悪いの五段階)

二十一問の質問で「大変良い」「良い」がそれぞれ五二％と八六％で、前回の調査に比べ、低い評価となりました。「普通」以上の評価は九割を超えましたが、「非常に悪い」は無かったものの、看護師、会計窓口、食事、トイレの項目で「悪い」と感じられている人も若干おられるという結果になりました。



外来患者さまの回答

調査時期 平成二十年十月十六日から
一週間
回答数 二百人
設問 十二問 (①大変良い②良い③普通④悪い⑤非常に悪いの五段階)

職員の対応では、七項目の質問で「大変良い」「良い」がそれぞれ六三％と八二％で、前回の調査(五七％と七八％)より六〜四ポイント高く、いずれの項目でも高い評価を受けました。九割を超える人が「普通」以上とされているようですが、「非常に悪い」は無かったものの「悪い」と感じられている人も若干おられるという結果になりました。また、新設問の清掃やトイレの清潔感、病棟の全体の感想については、「大変良い」「良い」がそれぞれ六五％と八〇％で、他の設問よりは低いものの、「普通」以上の評価は九割を超えました。一方、「家族や友人に紹介できる病院ですか」の設問では、「あまり思わない」「絶対に紹介しない」と思われる人もおられました。

職員の対応について

Q 医師の診察内容はいかがですか
A 「大変良い」「良い」が八二％を占めました

アンケートの結果が

医師の対応について

- Q 医師の診察内容はいかがですか
A 「大変良い」「良い」が八六％を占めました
- Q 医師は症状や病名をきちんと説明し、その説明は分かりやすかったですか
A 「大変良い」「良い」が八四％で、前回と同様の評価でした
- Q 医師はあなたの意見を聞き、質問に十分答えましたか
A 「大変良い」「良い」が八〇％で、前回より若干評価が下がりました
- Q 医師同士や、医師と看護師との説明は一貫していましたか
A 「大変良い」「良い」が六六％を占めました
- Q 当院の医師に満足されましたか
A 「大変良い」「良い」が七四％を占めました
- Q 看護師の技術はいかがでしたか
A 「大変良い」「良い」が七八％で、前回より評価が下がりました
- Q 看護師は今後の予定や看護内容について十分説明し、その内容はわかりやすかったですか
A 「大変良い」「良い」が六六％で、前回より評価が下がりました

看護師の対応について

- Q 看護師は必要な時にすぐ対応しましたか
A 「大変良い」「良い」が七三％を占めました
- Q 看護師は思いやりのある態度で、誠意をもって接しましたか
A 「大変良い」「良い」が七二％を占めました
- Q 当院の看護に満足されましたか
A 「大変良い」「良い」が六五％を占めました

その他の職員の対応について

- Q 薬剤師の薬の説明はわかりやすかったですか
A 「大変良い」「良い」が五二％を占めました
- Q 検査を不安なく受けることができましたか
A 「大変良い」「良い」が五六％を占めました
- Q 治療費のご請求やお支払いの時の対応や説明はわかりやすかったですか
A 「大変良い」「良い」が五四％を占めました
- Q 食事はおいしかったですか
A 「大変良い」「良い」が五三％で、前回より評価が下がりました
- Q 食事の時間は適当でしたか
A 「大変良い」「良い」が六二％で、前回より評価が下がりました
- Q 食事の量は適当でしたか
A 「大変良い」「良い」が五六％を占めました
- Q 病室の清潔さや、清掃状態はいかがでしたか
A 「大変良い」「良い」が七三％を占めました

施設や療養環境について

- Q 次に入院する時、当院を利用したいと思えますか
A 「ぜひそうしたい」「まあそう思う」が八一％で、高い評価を受けました
- Q 「家族や友人に紹介できる病院ですか」
A 「ぜひそうしたい」「まあそう思う」が六二％を占めました。評価を上げる努力が必要です

その他

- Q 診察室、待合室の清潔さや清掃状態はいかがでしたか
A 「大変良い」「良い」が七三％を占めました
- Q トイレの清潔さや清掃状態はいかがでしたか
A 「大変良い」「良い」が七七％を占めました
- Q 「ぜひそうしたい」「まあそう思う」が八〇％を占めました
- Q 家族や友人に紹介できる病院ですか
A 「ぜひそうしたい」「まあそう思う」が六五％で、「あまり思わない」「絶対にしない」は六％となりました。評価を上げる努力が必要です

施設環境について

- Q 当院の全体の感想はいかがでしたか
A 「大変良い」「良い」が六八％を占めました
- Q 次回も当院を利用したいと思いますか
A 「ぜひそうしたい」「まあそう思う」が八〇％を占めました

自由記載欄では、入院患者さまから十四件、外来患者さまから三十三件のご意見、ご要望をいただきました。おしかりのご意見もありませんでしたが、五一％の患者さまからプラス評価や激励のご意見をいただき、前回調査と比べ二ポイントの上昇となりました。国保病院では、このアンケートに基づき、スタッフ一同がそれぞれの評価が一つでもステップアップし、一人でも多くの患者さまに満足いただけるよう、今後も一層のサービスの向上に努めたいと考えております。

受賞おめでとうございます

15個人、8団体

平成20年度 少年少女文化・スポーツ奨励賞

平成二十年度の「少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式」が三月八日、中央公民館で執り行われました。受賞者は次の通りです。(敬称略)

少年少女文化奨励賞

【個人】

- 西村明莉 (中央小3年)
平成20年度十勝子ども大会
「社会科作品の部」……………金賞
- 井出優太 (仙美里小5年)
平成20年度十勝子ども大会
「美術作品 版画の部」……………特選
- 高隆平 (仙美里小6年)
とち書教育一〇〇号記念展
……………とち書教育賞



- 伊東みち (本別中1年)
平成20年度十勝子ども大会
「美術作品 デザインの部」……………特選
- 鹿山菜都美 (本別中2年)
平成20年度十勝子ども大会
「技術・家庭科 家庭科作品の部」……………中文連賞
- 古川千尋 (本別中2年)
平成20年度十勝子ども大会
「技術・家庭科 家庭科作品の部」……………特選
- 志戸田康代 (勇足中3年)
平成20年度十勝子ども大会
「英語暗唱の部」……………最優秀賞

【団体】

- 仙美里小学校3学年 (7人)
平成20年度十勝子ども大会
「社会科作品の部」……………金賞
- 西村虎大佑 (中央小5年)
西村明莉 (中央小3年)
第7回子どもアイデアコンテスト
「高学年の部」……………北海道代表



本別ボランティアクラブかめ(31人)
本別町社会福祉大会表彰・内閣府善行
青少年健全育成成功労者表彰を受賞する。

少年少女スポーツ奨励賞

【個人】

- 向井大貴 (中央小1年)
第11回十勝新春水泳大会
小学1年男子の部25m背泳ぎ第1位
- 志賀萌香 (中央小1年)
第11回十勝新春水泳大会
小学1年女子の部25m背泳ぎ第1位
- 高嶋一毅 (中央小2年)
第20回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学2年男子の部50m背泳ぎ 第1位



- 岡崎遼太郎 (中央小5年)
第35回全十勝小学校陸上競技大会
男子5年ソフトボール投
……………第1位(十勝小学生新)
- 古山聖也 (中央小5年)
第35回全十勝小学校陸上競技大会
男子5年走幅跳……………第1位
- 第26回北海道小学生陸上競技大会
男子5年走幅跳……………第5位



- 伊藤千耶子 (中央小5年)
第35回全十勝小学校陸上競技大会
女子5年ソフトボール投……………第1位
- 第26回北海道小学生陸上競技大会
女子5年ソフトボール投……………第2位
- 有沢大樹 (中央小6年)
第20回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会
小学6年男子の部50m自由形第1位
- 船戸美佑 (中央小6年)
第35回全十勝小学校陸上競技大会
女子6年80mハードル……………第1位



【団体】

- 本別陸上少年団 (4人)
第35回全十勝小学校陸上競技大会
女子5年4×100mリレー 第1位
- 本別剣道スポーツ少年団
Aチーム(3人)
第13回少年剣道錬成交流幕別大会
小学生中学年の部……………優勝



- 本別剣道スポーツ少年団
Aチーム (5人)
第13回十勝大平原全道少年剣道錬成大会
小学生の部……………敢闘賞(ベスト8)
- 本別サッカー少年団 (11人)
全道フットサル2009(U-12)
十勝地区予選Aブロック……………優勝
- 本別中学校陸上部
女子リレーチーム(4人)
第27回全十勝中学校対抗陸上競技大会
女子4×100mリレー……………優勝



HELLO 本別中央小学校

学校協力隊の学校支援

「本別元気かあさんの会」や「ぶっくる」の皆様には、図書室の本の修繕や表紙のラミネート加工、本の読み聞かせなど行っていただいております。

また、昨年度から「学校支援地域本部事業」の取り組みが始まりました。この事業は地域のボランティアによる学校を応援するものです。子どもを育むため地域の人材を派遣していただいたり、教育に関する情報提供などを通して学校を支えています。



6年生英語の授業



1年生生活科昔遊び

元気な新入生を迎え、新年度が始まるうとしています。

今年度も地域・保護者の皆様のご支援ご協力をいただき特色ある教育活動を行い、子ども達が意欲を持って学び、豊かな心を持ち、確かな学力の定着を目指した学校づくりを行っていきます。

小・中連携教育

小学校から中学校へのスムーズな学びの移行を目指して中学校と連携して様々な活動を行っています。

その1つに高校も含めた小中高の3校による研究会があります。他町村ではあまり行っていない特色ある活動です。

昨年度は中学校の先生に小学校に来ていただき6年生に英語の授業を行っていただきました。この授業を通して、6年生の英語に対する不安も薄らぎ、中学校での学習・生活に対する期待も高まったようです。

中央小の特色ある教育活動

地域参観日

11月の第3日曜日に地域参観日を行っています。

子ども達の学習の様子や集会の様子を保護者・地域の皆様にご覧いただいております。

地域参観日には、地域の人やおじいちゃん・おばあちゃん、保育所の子ども達もたくさん来てくれます。

お祭り集会は学級ごとに企画・準備を行い、参加者の皆様楽しんでいただけるものを学級全体で協力して行っています。この集会を通して、たくさんの人と触れ合うことで人とかかわり方も学んでいます。



地域参観日のお祭り集会



校内の授業研究会

学力向上・読書活動の推進

学力の向上を目指して様々な活動を行っています。朝の学習は「ベースアップタイム」と称し、全校で読書活動に取り組んでいます。児童のアンケート調査から、読書好きの子が増えてきている結果が出ています。今年度からは「家庭で読書の日」を設定し、さらに読書活動を推進していきます。

また、校内の共同研究では算数の学習指導について研究しています。お互いの授業を公開し、指導法について学び授業改善を図っています。

本別中央小学校開校40周年

中央小学校が開校して今年で40年となります。そこで、昨年からPTA役員を中心に「本別中央小学校開校40周年記念事業準備委員会」を組織し、事業内容を検討してまいりました。「保護者・地域への周知」「50周年にむけての記録整理」「思い出に残る手作りの事業」を基本的な考えとして、今年度取り組んでまいりますので地域・保護者の皆様にはご支援ご協力のほどお願い申し上げます。



今野公司実行委員長から

「町民の皆様さんと行政が協働の町づくりを目指している。町民一人ひとりが仲良く暮らすのが原点。今日の講演を、明日からの近所づきあいに活かしてほしい」とあいさつしました。



NHK本別デジタル中継局開局を記念した「歓び実感フォーラム（いきいきほんべつふれあい祭り実行委員会主催・今野公司実行委員長）」が三月九日、中央公民館大ホールで開催されました。

「今こそ発揮しよう！ ご近所の底力！」 歓び実感フォーラム

まなび自書

生涯学習情報

相手の話に耳を傾け、理解しあうことで地域が元気になる

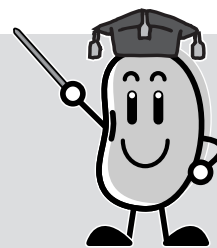
大きな拍手で迎えられた松本和也NHKアナウンサーは、平成十三年の「ひるどき日本列島」以来八年ぶりの来町。

今年の講演会は「今こそ発揮しよう！ご近所の底力！」をテーマに、自身が司会を務める「難問解決！ご近所の底力！」の全国各地の取り組みVTRを紹介しながら、「地域を元気にするために」何が必要か、また「若者や定年退職後の人」などが、どのようにしたら地域活動に参加してもらえるかという悩みの解決方法について、会場を訪れた観客とともに考えました。

その中で、コミュニケーションの大切さについて触れ、「松本アナが語った地域を元気にするポイント」を挙げました。地域では人とのつながりを持ちたい、何かの役に立ちたいと思っている人がたくさんいる。特に若者は自分のアイデアを取り入れてもらうことを喜ぶと指摘。会場に訪れた約二〇〇人の観客は、松本アナウンサーの歯切れ良い語り口に、真剣に聞き入っていました。

松本アナが語った地域を元気にするポイント

- 相手の話に耳を傾ける（自分の話も聞いてもらえる）
- 回覧板のような、上からの指示、押し付け、強制をしない
- 同じ目線で話す
- 若者、女性が出てこられる時間帯にイベントなどを開催する
- リーダーが強すぎるとうまくいかない（自由に活動できるようにすることが大切）
- 地域のもめ事などは、中立の人がいることが重要。また、話を整理する役の人が必要
- 全員一致にこだわらない ※小さな成功が、周りの人を取り込んでいく
- コミュニケーションを大切に（人と人とのつながりがなくなると、人は老いる）
- 住民が動けば、行政も動く（最後に、行政が動く！）



生涯学習についてのお問い合わせ先
役場企画振興課
企画・生涯学習担当
☎22-8121
(課直通)



十勝管内教育実践表彰を受賞 2 | 20

本別町教育委員会（若木佳則教育委員長）が2月20日、平成20年度十勝管内教育実践表彰を受賞し矢花司十勝教育局長から表彰状を受けました。この賞は、管内の学校教育、社会教育の向上に大きく貢献している団体や個人などを表彰し、管内教育の振興に寄与することを目的とし実施されており、本別町教育委員会の受賞は、「ほんべつ学びの日」の制定など、地域の教育力を生かし心豊かな子供をはぐむ実践が高く評価されたものです。



2月23日、本別町教育委員会が表彰を受けたことを報告しました
写真右から 高橋利勝町議会副議長、笠原求町議会議長、澤田満教育長、高橋正夫町長、砂原勝副町長

教育委員と学び輝く学校支援委員との懇談会 2 | 23

保護者や地域のさまざまな意見を的確に反映させながら教育活動を展開していくことを目的に、教育委員と学び輝く学校支援委員との懇談会が2月23日、町体育館中競技室で開催されました。町内の中学校で生徒たちのケアをしている北海道公立学校スクールカウンセラーの大道まき子さんが「スクールカウンセラーが見る子どもの今」と題しての講演後、参加した支援委員等が3つのグループに分かれて子供を見守るための地域での役割について意見交換を行い、子供たちに対して地域が何をしなければならぬかなどを話し合いました。



自分の財産は自分自身で守る 2 | 23

南1丁目自治会（岡田清治会長）が同自治会員を対象に「振り込め詐欺」防止のための説明会を2月23日、本別警察署の浮田和之生活安全課長を招き南地区集会所で開催しました。実際に被害があった事例などを紹介しながら、最近は手口が巧妙で悪質になってきていることから、あやしいと思ったら振り込む前に警察や役場に連絡をと呼び掛けるとともに、「自分の財産は自分自身で守らなければならない」と強調し、訪れた25人の参加者は真剣な眼差しで聞き入っていました。



「読み聞かせ」は読み手と聞き手が一緒に楽しむ時間 2 | 24

家庭支援・教育事業「なかよし」の「読み聞かせ」が2月24日、子育て支援センターで開催されました。読み聞かせサークル「すいーとぼてと（村上裕子代表）」のメンバーが、「読み聞かせは読み手と聞き手が一緒に楽しむことが大切であり、本を読むときは笑顔で」と説明し、「絵本の読み聞かせ」「手遊び」「エプロンシアター」などの6つのプログラムに参加した24組51人の親子は、読み聞かせの魅力に触れながら楽しいひとときを過ごしました。



犯罪被害者等支援に関する協定書調印式 3 | 5

昨年の12月議会で制定された、「本別町犯罪被害者等支援条例」に関する本別町と本別警察署の協定書調印式が3月5日、町体育館で執り行われました。この協定は、犯罪被害者支援のための情報提供など相互連携を目的としたもので、市町村と警察が協定を結ぶのは道内初。高橋正夫本別町長は「この条例を使うことがないことを願うが、万が一使うことがあっても被害に遭われた人が、安心して暮らせる環境づくりに努めたい」と述べました。



音楽でスキンシップ 3 | 6

家庭支援・教育事業「なかよし」の「リズムにあわせ親子でスキンシップ」が3月6日、健康管理センターで開かれ33組75人の親子が参加しました。音楽療法士の新津直美さんが講師を務め、「チューリップ」や「ぞうさん」など12曲のリズムに合わせて、踊りや手遊びなどを展開。参加者は、元気いっぱい体に動かしながら終始笑顔で親子のきずなを深めていました。



環境問題について考えました 3 | 12

成人講座「今こそ出番！本別版団塊の世代」第3弾が3月12日、中央公民館で開かれました。今回は、坂本芳美さん（市民団体スローウェーブすんく村代表）が「環境にやさしくまわりにやさしく」と題して環境問題について講演。二酸化炭素濃度の上昇による世界の環境破壊の深刻な状況について説明し、「自分たちには今、何ができるのか」と参加者に問いかけました。これからは、地産地消、自然エネルギーの導入など「町民が未来を切り開いていく時代」と強調し、誰かがやるのでは遅い「何か一つでもいいから、行動を」と訴え、会場を訪れた18人の参加者は、地球の現状と今後の取り組みなどについて学びました。



ヨガで心と体をリフレッシュ 3 | 16

妊婦および子育て中のお母さんを応援するための「ヨガ・ピラティス」教室が3月16日、健康管理センターで開催されました。ヨガ・ピラティスインストラクターの木村香先生が講師を務め、ゆったりとした動きの中で様々なポーズをとりながら「リラックスをするためには、呼吸を止めないことや無理をしないことが大切」と説明。参加した27人のお母さんたちは、硬くなった体をほぐしながら、育児に疲れた心と体を癒していました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121（課直通）

国民年金コ一十ー その84

「学生納付特例制度」とは??

学生納付特例制度は、所得が無い学生が、将来、年金を受けることができなくなることや、不慮の事故等により障がいが残ってしまった場合に、障害基礎年金を受けることができなくなること等を防止するため、ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

本人の所得のみで審査

学生納付特例はご本人の所得のみで判定することになりますが、所得のある人については、基準額以下の場合に特例を受けることができます。
※学生は、学生納付特例制度のみご利用いただけます。



学生納付特例期間の年金はどうなるの??

「納付」と「学生納付特例」と「未納」はこのように違います。

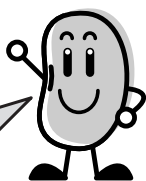
	納付	学生納付特例	未納
障害基礎年金 遺族基礎年金 (受給資格期間)	○ 入ります	○ 入ります	× 入りません
老齢基礎年金 受給資格期間	○ 入ります	○ 入ります	× 入りません
老齢基礎年金 年金額に計算	○ されます	× されません	× されません

- 障害基礎年金および遺族基礎年金を受給されるためには一定の受給要件があります。
- 学生納付特例を受けた期間は、将来受ける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額には反映されません。
- 学生納付特例が承認された期間の保険料は、10年以内であれば、古い期間から順に納付（追納）が可能です。（ただし、承認を受けた年度から起算して、3年度以降は、当時の保険料に一定の金額が加算されます）

保険料の追納はどうするの??

追納にあたっては、別途申請書の提出が必要になります。申し込みは本別町役場住民課戸籍年金担当または帯広社会事務所で行うことができます。

平成21年度の国民年金保険料額は1か月14,660円です。
お支払い方法によってお得な割引もありますので、お気軽にお問い合わせください。



詳しくは 役場住民課戸籍年金担当 ☎22-8128 (課直通)

ご寄付ありがとうございます

平成21年2月27日から3月4日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町社会教育施設等整備基金指定
金300,000円……………北8丁目 小山 浅子
- ★美里別保育所指定
牛乳贈答券 5,000円分 …………… 拓農酪農振興会

みんなの健康

296

腎臓は機能低下が自覚症状のないまま進みます。気づかぬままに進行し、むくみや息切れなどの自覚症状が出る段階になるとすでに回復できないほど悪化しているという症例が多く見受けられます。

身近な透析のお話

膜透析を希望される患者さんには、

一昨年の研究発表ではこう
した透析予備軍は二〇〇〇万人とも言われており、早期発見早期対応で腎臓の悪化を早いうちに止めることの重要性が指摘されています。

皆さんは透析には二つの方法があることをご存じでしょうか。一つは「血液透析」といって、腕の血管から大きめの注射針を使って血液をとりだし、透析装置（人工腎臓）を通して血液を綺麗にし、余分な水分を除去し、綺麗になった血液を再び体に戻すというものです。十分に全身の血液を綺麗にするには時間がかかり、三時間から五時間の間、ベッドに横になっていなければなりません。また、低下した腎臓の機能を補うためには週に二回から三回この治療が必要になります。

本別町国民健康保険病院
人工透析室主査 白山 英明

もう一つは「腹膜透析」といわれる方法で、おなかの中に管を留置しておき、透析液を入れ替えるから毒素や余分な水分を除去するというものです。これは毎日自宅などで患者さん自身が行います。それぞれ一長一短、向き不向きがあります。本別町国保病院では血液透析のみを施行しており、腹

専門の施設を紹介しております。機械や治療の内容もそれぞれ違いふんと進歩しており、今では透析をうけながら元気に働く患者さんも多くおられます。とはいえ、透析治療はまだ万全なものではなく、患者さんは定期通院の制限に加えて、水分制限や食事の制限など、かなりの節制が求められます。患者さんがこうした苦勞をしながら生活されていることも知っておきたいことです。

銀河ホップアップダンス

足寄町

ネイパルあしよる

ボランティアセミナー①

開催日 4月25日(土)

1泊2日 26日(日)

1泊2日

場所 道立足寄少年自然の家
(ネイパルあしよる)

内容 講義(コミュニケーション・トレーニング)、熱気球クルー体験など

- 対象 青少年教育施設でのボランティアを志す高校生以上の方および道民カレッジ受講生
- 定員 30人
- 持ち物 野外活動に適した服装、長靴、洗面用具、上靴など
- 申込期限 4月21日(火)
(定員になり次第締め切り)
- ※参加費用など詳しくはお問い合わせください
- 申込先・詳細 道立足寄少年自然の家
☎2516111

陸別町

第21回 オールジャパン

パッチ選手権大会



あなたは覚えてますか? 学校帰りに日の暮れるのも忘れて遊んだあのころ、「もう一度あのころの腕を振りたい」そう思っているあなた! ぜひ一度ご参加ください。

とき 4月19日(日)
午前10時~

- ところ 陸別町タウンホール
- 参加資格 20歳以上の男女
- 参加料 1700円
- 参加申込 電話で先着96人
- 問い合わせ・申込先 陸別町役場産業振興課内
大会事務局 ☎2712141

定額給付金の支給申請が始まっています

昨年十月に国民一人当たり一万二千元（六十五歳以上と十八歳以下は二万円）、総額二兆円規模の経済対策として実施を発表した定額給付金が、三月四日の財源措置を定める関連法の施行により支給が決定しました。これにあわせて本別町でも三月十八日に議会の議決をいただき定額給付金の支給事務を開始しています。

この給付には皆さんからの申請が必要となり、十九日に該当する世帯主あてに定額給付金支給申請書を送付していますので、お早めに申請書の提出をお願いします。

給付対象者

平成二十一年二月一日現在において「本別町住民基本台帳に記載されている人」または「外国人登録されている人（短期滞在者は除く）」

給付方法

給付金の口座への振り込みは、三月中に申請を受け付けた分について、四月下旬にお振り込みを予定しております。その後は、概ね半月毎にお振り込みを予定しています。

申請はお早めに！

申請期間は三月二十三日（月）から九月二十四日（木）までです

申請書は郵便で！

皆さんのお手数を極力軽減できるように申請書に返信用の封筒を同封しています。申請書はこちらを利用し郵送してください。※事情により郵便による申請ができない場合は、窓口での受け付けもお取り扱いたします。その際の提出書類は郵便による申請と同じです。

給付金額

☆昭和十九年二月三日～平成二年二月一日生まれの人
一人当たり二万円
☆昭和十九年二月二日以前に生まれた人（六十五歳以上）
一人当たり二万円
☆平成二年二月二日以降に生まれた人（十八歳以下）
一人当たり二万円
※平成二十一年二月二日以降に生まれた人は該当になりません

なお、給付が決定いたしましたら、あらかじめ給付金額と振込予定日を記載した「給付決定通知書」をお送りいたしますのでご確認ください。

※口座をお持ちでない人や口座を使用できない特別な事情がある場合に限り「現金給付」もお取り扱いたします。ただし、口座振込処理を優先して行うため、現金給付は口座振込予定日より遅くなる見込みであることをご理解願います。



子育て応援特別手当の申請も始まっています

子育て応援特別手当は、現下の厳しい経済情勢において、多子世帯の子育て負担に対する配慮として、第二子以降の児童について、一人当たり三万六千円を支給するものです。

支給対象者

平成二十一年二月一日現在において、次の対象となる子が本別町住民基本台帳に記載されている世帯の世帯主

☆世帯に、三歳以上十八歳以下の子（平成二年四月二日から平成十七年四月一日までに生まれた子）が二人以上おり、かつ、その中の第二子以降に就学前三年間（平成十四年四月二日から平成十七年四月一日までに生まれた子）に属する子がいる世帯

世帯に18歳以下の子が2人以上おり、第2子以降に就学前3年間に属する子がいるため対象世帯となります。この場合、第2子1人が対象になるため、36,000円支給されます。

例) 3人兄弟の場合の対象児童



平成14年4月2日から平成17年4月1日に生まれた子

給付方法や申請期間については「定額給付金」と同様です。

子育て応援特別手当

問い合わせおよび受付窓口

本別町役場保健福祉課 ☎22-8130

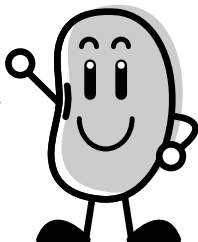
受付時間：月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分（祝日を除く）

定額給付金の給付をよそおった「振り込め詐欺」等にご注意ください

定額給付金や子育て支援特別手当の給付・支給手続きが始まりました。しかし、本別町が「お金の振込み」や「ATMの操作をお願い」することは絶対にありません。このような電話がありましたら本別町にご連絡いただくか、警察相談電話「#9110」にご連絡ください。

※受け付けをした申請書は記載内容について審査を行います。その結果、不明な点などがありましたらお電話やお手紙でお問い合わせする場合があります

定額給付金および子育て支援特別手当はどちらも申請に基づき給付・支給されます。申請書の記載事項を確認し、「自分の世帯に該当者がいるのに記載されていない」などがありましたらお気軽にお問い合わせください。



定額給付金

問い合わせ窓口

本別町役場 定額給付金担当 ☎22-2141（内線117）

受付窓口

本別町役場1階 保健福祉課内 定額給付金担当

受付時間：月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分（祝日を除く）

広報ほんべつ 第966号

平成21年4月1日発行
印刷/本別印刷株式会社

本のある暮らし 97

本別町図書館

ファースト・ブック事業

赤ちゃんがはじめて出会う
絵本はママの“手づくり”で

お誕生

2月後半から
3月前半の
届出分

前田 桂都^{けいと} 茂雄^{もへお} 2/8 弥生町
田口 真理^{まこと} 登士^{のぶし} 2/23 山手町
星 蒼来^{そうらい} 達也^{たつや} 3/2 押 帯
高橋 陽生^{はるき} 亮^{あきら} 3/10 山手町

ご結婚

(砂原 剛^{さつら} 南4丁目
山口 良子^{りょうこ} 札幌市
(井上 秀^{ひで} 南4丁目
関 知加子^{ちかこ} 帯 広市

おくやみ

森 春藏^{はるぞう} 86歳 2/17 弥生町
田野ヒテ子^{ひてこ} 93歳 2/18 柏木町
堀川 恒雄^{つねお} 81歳 2/20 東 町
吉田 壽美枝^{すずみえ} 67歳 2/21 北8丁目
西尾 英義^{えいぎ} 41歳 3/8 勇足西4
小林 ひろ子^{ひろこ} 60歳 3/10 北4丁目
武田 良亮^{りょうりやう} 79歳 3/13 北7丁目

ファースト・ブックって なーに？

赤ちゃんが誕生してはじめて出会う絵本のこと。生まれてくる赤ちゃんに「生まれてきてくれてありがとう」の感謝の心をママの手づくり絵本で、伝えましょう。



ファースト・ブック事業とは？

☆手づくり絵本は生涯の宝物です！

生涯を通じて本とふれあう楽しさをママの手づくり絵本からはじめましょう。

☆図書館で手づくり絵本をつくります！

おなかの赤ちゃんとのコミュニケーションをとりながら簡単で楽しい絵本をつくります。

☆絵本読み聞かせの大切さを知りましょう！

絵本は心育ての「常備薬」となります。生まれる前から絵本読み聞かせの大切さを知り、おなかの赤ちゃんに読んであげましょう。

☆0歳から図書館利用者

生まれたばかりの赤ちゃんも自分の図書館貸出カードで本を借りられます。

参加ある 妊婦さんには…

- 手づくり貸出袋
- ママと赤ちゃんのための本のリスト
- 図書館カレンダー
- 読み聞かせ会の案内
- 利用者登録用紙をプレゼント

参加は無料です

わたしたちのまち

前月比

人口 8,654人(-15)

男 4,269人(-7)

女 4,385人(-8)

世帯数 3,926戸(-2)

〔2月末日住民基本台帳〕

町内の妊婦さん、 ぜひ図書館にご連絡ください

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112



発行 本別町

編集 企画振興課
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121
(直通)
FAX 0156-22-3237

ホームページ
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>



資源を大切に——
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。